

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市向陽台児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 28,494人(前年度比 105.7%) 令和4年度 26,946人 令和3年度 23,763人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 45,460千円(42,997千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域連携運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定めている避難訓練等を実施していない月があった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。また、地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「子どもがまんなか笑顔あふれる児童館」を運営目標に掲げ、児童館で生まれた出会いが地域に笑顔となって広がっていくよう、事業を展開してまいりました。</p> <p>【児童健全育成事業】講師やボランティアの協力を得て多彩な行事を行いました。昔あそびやダブルダッチでは行事後、毎日遊ぶようになり、中には名人級の技が披露できる子も現れました。児童館祭りでは高学年クラブがスタッフとして企画から携わり活躍しました。新たな遊びへのチャレンジと子どもの参画をこれからも促してまいります。</p> <p>【子育て家庭支援事業】気軽に訪れることのできる遊び場として、年齢別活動と、どなたでも参加いただける行事を行いました。0歳児「ひよこちゃん」では他機関と連携し育児相談を定期的に行いました。1歳対象「こっこちゃん」は利用者の声から新設いたしました。相談支援や利用者同士の交流の活性化を図ることで、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たすことができました。</p> <p>【地域交流推進事業】「地域探検・自然観察会」では、山の寺洞雲寺を会場に、新たに仙台市科学館の協力、松陵市民センターとの共催で行いました。家族参加行事は思い出を共有し他家族との交流を深めることができるため、今後も継続していきたい行事の一つです。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】「交流活動」として、高齢者施設の訪問や保育園児の招待をしました。児童クラブの子どもたちが地域の一員としての自覚をもつ機会となりました。また「あそびのポケット」では工作や運動遊び、自然体験など毎月違ったテーマの遊びを体験しました。充実した遊びと安心できる生活の両面から育ちを支援することができました。次年度も児童館が地域の皆さんにとって、長いライフサイクルの継ぎ目のない居場所となるよう、出会いと遊びを大切に事業展開してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、年度初めに児童クラブに登録していない新1年生対象に「あつまれ！1ねんせい」を開催した。児童クラブの児童と交流しながらゲームや制作を通して児童館の利用の仕方や児童館での遊びを体験する等、自由来館促進に努め、土曜日においては児童クラブの利用人数を上回る利用が見られている。また、地域の高学年の居場所作りとリーダー育成を目指して高学年クラブの活動を支援した。児童館祭りのコーナー運営や自主企画のスポーツ大会の準備運営を担い、子ども達が達成感を得る機会となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、利用者の声から1歳児の定例行事「こっこちゃん」の新設やコンサートを開催する等、保護者のニーズに沿ったプログラムを提供して地域の乳幼児親子を支援するための環境作りに努めている。また、子育て支援クラブの託児、見守りによる「ママのリフレッシュタイム」は保護者に多様な体験の場を提供しており、活動を通して参加者同士や子育て支援クラブ、講師の方との交流の場となっている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域連携運営委員会の資料に児童館の設置目的や仙台市の児童館機能や放課後児童クラブについて詳細に示しており、地域の方に周知共有を図った事で地域との連携をより深めている事は評価できる。地域の歴史探索、自然観察会や伝統行事に触れる等、様々な体験が地域の人材や資源を活用して行われており、体験活動を通して子ども達が地域住民と直接交流できる機会を設け、地域全体で健全育成を推し進める環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、令和5年度から近隣のデイサービスセンターや保育施設等との対面交流が再開し、子ども達が地域の様々な世代の人達と触れ合い、活動する機会を設けている。また、月に2回の職員会議では、児童館ガイドラインや児童クラブ運営指針の読み合わせを定期的に行い、職員の理解を深め支援にあたっている。その他にも事故事例を検討し、原因分析と改善のための対応と事故発生時の対応、役割分担等の手順書を作成して事故防止のための取組みを職員間で共有している。</p>	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課